

建設ICT研究会における目標への関わり（案）

前田建設工業(株)

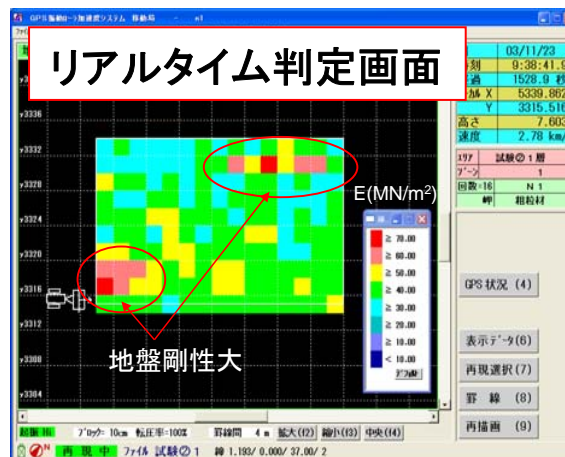
(1) 当社の保有または経験技術

- ① 振動ローラ加速度応答を利用した締固め管理技術「 α システム」
- ② GPSを用いたローラ軌跡管理による転圧回数管理技術
- ③ GPSを用いたブルドーザ敷均し管理技術
- ④ GPS測量+3D-CADによる土配計画、出来高管理
- ⑤ 無人化土工技術
- ⑥ 情報共有システムによる情報一元管理(CM事業での実績) など

この経験・実績
を活かしたい



加速度計



(2) 当社が関わりを希望する項目

施工②《検査の効率化》

検査機器を活用し、コンクリート又はアスファルトの温度や強度、騒音・振動・大気質・水質等の環境データをリアルタイムで確認及び蓄積を行い、【品質管理】又は【環境管理】を行う。

- **地盤剛性評価が重要な道路の路盤・路床を対象にモデル事業を実施し、振動ローラ加速度応答を用いたリアルタイム品質管理・検査の適用性を検証**
- **効果や問題点の抽出、歩掛り・コスト等の把握などを行い、施工要領・検査要領等を策定する**
- **特に、品質管理の考え方の構築（従来の密度から力学特性である地盤剛性を中心とした品質管理への移行、全数管理にともなう統計的処理や不良率の導入など）**

共通①《無駄の削除》

ICTを駆使することで【二重管理・関係書類作成など省略可能な業務を摘出し、効率化を図る】

- **モデル事業や既往実績を踏まえ、RIや砂置換による密度管理との二重管理をなくし、従来管理の点数減などを含めた合理的な品質管理基準を策定する**

(3) 全般に対する意見

- **ICTの現場導入を行っている民間会社は多数あるが、必ずしも理想的な運用にはなっていないと思われる(むしろ、現場としてはお荷物的扱い?)**
- **各社に対し、現場運用上の問題点、使い勝手や発注者への要望などの「生の声」を収集し、**現行の技術面・制度面における課題をまず具体的に整理した上で、本研究会の活動目標に反映させることが必要では?****